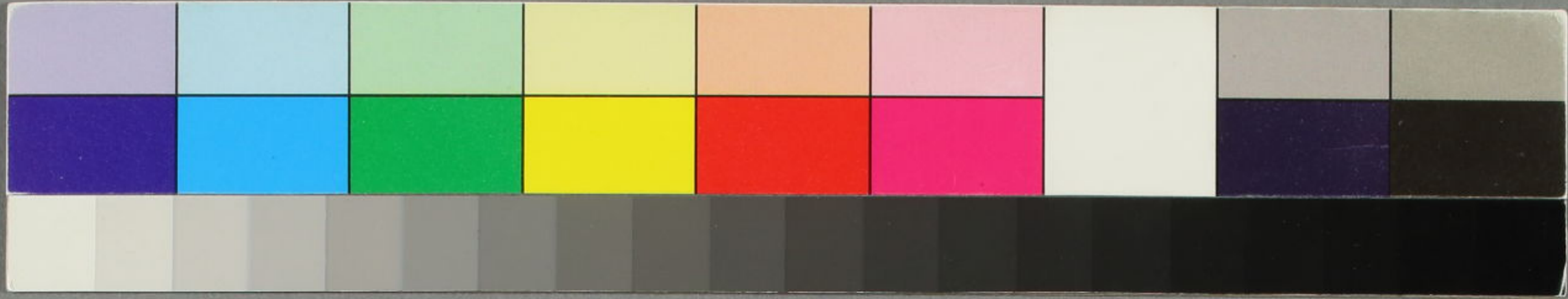


誂諧手挑灯

上

^ 5
1498
1





明治十八年十月十日



誹

手挑灯集

諧

桶町

堀長治郎

唐の奇異人の心算を採
とくくもあつたもの葉
わがやまの歌を歌らるる
津代より信じてるまに
うめいふまに
生かぬうらみびに
林に志をたよるまに
友の集はれしつれ話
流るる水も待てぬ
学ばぬ心も所が
志の山嶺にこそ



月吉花紅葉まつりけ
真に家しくつひ出
然し樂人つひあり
むとひけりて氏安ん
活まれば所代りあり
とふふと業蒙句教は
わかれ周りに海もあ
送るもづいもれり
いふも挑灯りつひ

若翁

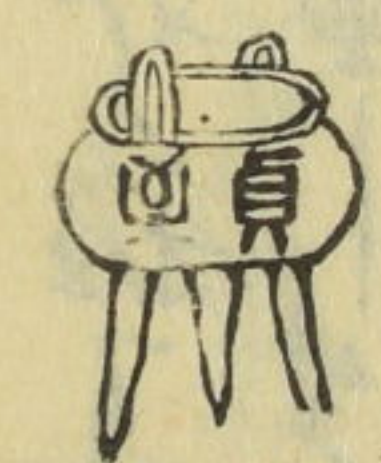


若道有血山が権り書
美の志は海に流る
元文忠は一の其筆乃
一集とみる門下の迷
絶つては世も知らぬ
孝いやうのん事と
牛二とせ河つとるや
登つて来志はもとに
かりは志事いねれ
ほらるる身孤燈と
老の流る乃功
了る手挑灯志一語と

選に...
 殊...
 予...
 眼...
 辨...
 殊...
 心...
 一...

熊谷醉多

遊柿菴貞至書



誹諧手挑灯 上卷

凡例



奇一首ハ 三十一字

春道... 白ゆき

... 香久山

... 五義也

篇序 題曲 流

... 七... 七... 七... 七... 七...

... 七... 七... 七... 七... 七...

上下合... 一文字... 上の句篇序題に...

六句目秋 初表 八句 内 七句 月 九句 月 十三句 月 卷

一ウ 是ヨリ初裏ト云裏角セシハ

何名句 是ヨリ初裏ト云裏角セシハ

句數月卷の定座等末に委く記す
尤奇仙の巻ヲ末に載る句候
仕やうやく味ひ志新初

歌仙句數法

初表 六句 内 音月 月 定座 六句 八月 月 月

初裏 十二句 内 七句 月 十句 月 卷 十二句 月 卷

名残表 十二句 内 十句 月

同裏 六句 内 五句 月 花 是ヨリ月 月 月

此十八句も一折
二折合テ三十六句也

百韻法

初表 八句 内 七句 月 九句 月 十三句 月 卷

同裏 折 十四句 内 十三句 月 九句 月 十三句 月 卷

三表 折 十四句 右同断

同裏 折 十四句 右同断

名残表 十四句 右同断

同裏 八句 内 七句 月 卷 自 月 卷 月 卷

四十四法

百負の初折ト名残の折ト合テ四十四句ナリ

七十二韻

百負の初折ト三折ト名残の折ト三折合テ七十二句ナリ

源氏法

初表 六句 内 五句 月 七句 月 十句 月 卷

同裏 土句 内 十句 月 七句 月 十句 月 卷

同裏 土句 内 七句 月 十句 月 卷

名残表 十句 内 十句 月 同裏 六句 内 五句 月 右三折 月 五句 卷 三折 奇仙 三折 月 四句 卷

采字

八十八句

初表八句 内七句メ月
 同裏十句 内七句メ月 土句メ月
 二表十句 内十句メ月
 同裏十句 内七句メ月 土句メ月
 三表十句 右同断
 同裏十句 右同断
 名残表十句 右同断
 同裏八句 内七句メ月
 右四折三月七ツ卷四ツ也

首尾

奇仙 八句 初表六句 五句メ月 合十三句スツ云
 百負 八句 初表八句 七句メ月 合十六句スツ云
 裏白 六句カ 表斗リスツ云
 面白 八句カ 裏斗リスツ云
 三ツ物 発句脇第三三三句スツ云

月卷

発句

發句の協り等言に於て内ハ初表の月を以て
 發句の協り等言に於て内ハ初表の月を以て
 但云々ハ等言に於て内ハ初表の月を以て
 四句メ月ハ初表の内ハ初表の月を以て
 惡くハ初表の内ハ初表の月を以て

發句

同

同

同

會席

連句

一順

再遍

聯

吟聲

回寫

獨吟

兩吟

前句

遲吟

秀逸

林後ハ初表の月を以て
 又或ハ初表の月を以て
 述懐等言ハ初表の月を以て
 初表の月を以て
 文臺に硯并詠草と飾宗匠と格請
 連中より合するを發句とす
 奇仙并百負等の事
 發句より去序の人教有る等二百句
 右の人教の句又一通う廻るといふ
 春季秋季三句ハ夏冬三句ハ惡
 三句等ハ初表の月を以て
 句と云ふ声に於てとす

そくハ初表の月を以て
 月ハ初表の月を以て
 日ハ初表の月を以て
 我ア初表の月を以て
 白ハ初表の月を以て
 秀逸ハ初表の月を以て

巻頭 後白とす

添削 一巻の長と宗通へとす

巻軸 わげとす

即点 早速点の出来とす

批言 白の所へ字と宗通よりとす

加筆 白の所へ字と宗通よりとす

慶美 白とぬるとす

筆句 連中の外に執筆よりとす

打越嫌 付くはらうとす

二句公 付くはらうとす

三句去 付くはらうとす

字去 付くはらうとす

奇公 付くはらうとす

衣季 竹田の松とす

月松 松とす

付くはらうとす

七句公 付くはらうとす

面公 百頁八面の二面とす

折公 百頁四折の一折とす

二四ハット 百頁とす

訓に四ツ有るのハ音也 四ツ有る

百千万のハ音也 訓音とす

面公

名所 國名在名等或ハ官名苗字

人の名がとに呼肉ハ名所とす

水辺山類 河川とす

時の草木葉句 段喰物にたす

季ハ持さうとす 極おとのとす

魚鳥 獣

おの喰おにたす 其季ハ持さうとす

おの喰おにたす 其季ハ持さうとす

百負より一句の如く七餘真より又出ても
 但余真より三句去三句去三句去の如く
 式より五句去七句去面去折去物
 らく三句去よりすすす

誹諧手挑灯 目錄

一天象	一器財
一聳物	一支躰
一降物	一名所
一神祇	一書躰
一釋教	一火躰
一戀	一風躰
一無常	一病躰
一述懷	一同字
一人倫	一同別

一居所	一同付字之辨
一山類	一賦物取様
一夜分	一月之辨
一水邊	一卷之辨
一衣服	一四季之詞
一食類	一雜之詞
一植物	一以呂波寄
一同高底	一發句切字
一旅躰	

以上
 并
 歌 癸句
 仙

但春三月にのみ用季有三月
 通季小右の下に如此黒
 星と付置也四季共同断
 并 年中諸國祭禮

神陀落 須弥座 三界六道
薦僧 梵論 是教三百卷 百万遍 漸念佛

非叙教

煩惱坊主落等の叙詞 叙詞あり
鐘書記 碩学 醫者 法叙名
諸職人の叙名 法印 法眼 法橋 等あり

○ 两部

神祇にも叙教ありと三百卷
二句はく一句にも捨

帝叙天 辨才天 多聞天

持國天 增長天 廣目天

聖天 大黒天 毗沙門天

摩利支天 如此天と呼ぶ神此外も两部

山伏 藤氏將來 兜巾 篠掛 檜杖 梓神子

立願 通夜 雨皮形箱

月待 日待 庚申待

○

戀之詞

三句太三句より五句と續ク
一句のみは不捨但當時の
点取小三句太三句續く免ス

戀 夫 妹 許 吝 氣 王 章 惣

情 媒 女 房 二 道 妹 脊 娘 惣

娘 契 内 薄 形 身 姿 鏡 仇 娘 惣

恨 妻 腰 元 門 立 口 紅 紅 脂 婚 嫁 惣

妾 呪 荅 荅 難 面 瓜 紅 紅 孕 婚 嫁 惣

女 託 荅 聲 待 他 白 粉 思 誓 孕 婚 嫁 惣

縁 忍 密 入 袖 引 化 莊 思 誓 孕 婚 嫁 惣

帳 戲 遊 傾 城 心 中 新 枕 悌 思 誓 孕 婚 嫁 惣

禱 戲 遊 女 下 焦 手 枕 悌 思 誓 孕 婚 嫁 惣

白 人 十 話 戲 女 下 焦 手 枕 悌 思 誓 孕 婚 嫁 惣

口 説 振 袖 野 郎 口 舌 流 目

持此訂

色狂 袖留 陰間 口吸 婦らわ
 水揚 飛子 頬摺 指櫛 尻目
 舞子 水祝 離別 金剛 志す
 物怪 七八 過占 懐妊 梅祿
 妓者 灰占 惡咀 荅車 坊主落
 松語 若衆 牽頭 兼言 目元の端
 念者 過君 立名 前髪 おりり
 惣嫁 睦言 婀娜 戀慕 を留り
 夜這 指切 腕突 入癩 身を焦
 揚屋 髪切 股突 蜜通 若後
 後添 湯女 白拍子 結ぶ虫絆
 女街 千束の父 諸國傾城町の名
 人目の関 人目忍ぶ 子と志免
 目くらせ 尻尻め 子はおは
 仇くらへ 下級解 ちきり
 存心 髪 垣間見 のりく

をかり 錦木 ニ尺八寸のまをこに
 細布 多くの細布と幅のせまら布とを六機と云ふ
 纈帯 女のけしきを時 後 おりの女に
 空炷 あきろう 夜分也
 虫の印 いそりの血をとりて女の肌をぬぐ

非戀詞

髮 所縁 奥様 櫛 三縁 鏡
 枕 女 中居 歎 宿執 夢
 帯 半婢 乳母 涙 干詭 偽
 後家 下女 御局 天女 早し女
 替女 市女 賤女 学女 椽の友
 佛 日月星と祈 句 禪



無常之詞

并哀傷

鳥辺野 仇野 釵の山 三途川

魂結ハミ 人ヒト 灰寄ハイキ 葬ムスビ 河原カワハラ
白骨ハシロ 觸ハツ 骸カゲ 冥途マイト 推オシ 龕イハ
極樂キョクラク 中陰チュウイン 忌中イミナカ 周忌シユウイミ 龕イハ
幽靈ユウレイ 人ヒト 魂タマ 追善ツイゼン 追悼ツイタウ

○ 述懷之詞 ニ句各二句にても
捨シテ

寡ウツ 白髮シラガ 三輪組サンリンクミ 侘ワカ 病人ヤマト
貧ヒナシ 浪人ナミダシ 眉の霜メイノシヨウ 乞食コウジキ 世捨ヨセシテ
苦ク 繼子ケイシ 苔衣コケイ 乞食コウジキ 世捨ヨセシテ

愚ウカ 賤シニ 山ヤマ 賤座シニザ 頭カビ 馨ニホ 女メ 柴戸シバド
尉エ 翁ウ 草庵クサアト 鉤カギ 翁ウ 賣炭翁ウツシタウ

○ 人倫之詞 ニ句各二句にても
捨シテ

祖父ソコ 父チチ 兄ケイ 姉イモ 我ワレ 息子イコ 子コ 娘メ 婿ムコ
祖母ソバ 母ハハ 弟ケイ 妹イモ 妻メケ 子コ 孫マコ 女メ 房ボウ

伯父ハクフ 婿ムコ 舅ケイ 夫ウツ 親オヤ 彦ヒコ 独ヒト 從弟ジュウテイ
伯母ハクボ 姪ムシ 姑ハハ 聾ムロ 聖賢セイケン の名ナ 實名ジツナ
俗名ソクナ 僧ソウ 法師ホフシ の名ナ 頌城ソウジヨウ 白拍子ハクパシ 野郎ノラウ の名ナ
はの準一と云ふ

非人倫之詞

帝ミカド 皇女クニノミコ 本院ホンイン 新院シンイン 仙洞センドウ 太子タウシ
宮ミヤ 親王シンウ 門カド 跡アト 大君オホキミ 仙人センジン 人間ニヤウ
一門イツモン 凡夫ボウフ 眷屬ケンロク 二人ニヒト 三人サンニヒト 大勢オホセ
雜兵ザツヘイ 衆生シュウジヤウ 典藥テンヤク 外科ゲク 本道ホンダウ 老若ラウニヤク
鍼醫シヤクイ 入道ニツダウ 百性ヒヤクセウ 且ナ 那ナ 歌カ 目代メダ
俗ソク 不仁フジン 音聲オンシヤウ 思オモ 同志トウシ 代官ダイカン 目代メダ
民タタ 目付メツケ 苗ナエ 主ヌシ 居イ 奉行フコウギヤウ 身ミ 某ナニ
私シ 地頭ヂヂウ 門カド 主ヌシ 橋ハシ 守モリ 門カド 守モリ 卷マク 守モリ
山ヤマ 姫ヒメ 橋ハシ 姫ヒメ 寒山カンサン 拾得シツトク 僧坊ソウボウ のノ 宦名クワンナ
秋アキ 祖ソ 師シ の名ナ 俗ソク 寫シヤウ 名ナ 苗ナエ 字ジ 守モリ の字ジ
師シ 經キヤウ 師シ 佛ブツ 師シ 繪エ 師シ 鑄チュウ 物モノ 師シ 是等也

手抄灯上

衣服之詞

百去二句拾々
一句拾々も捨ル

裳モス 小袖コソデ 衣裳イシヤウ 綿絆ワタヒキ 白無垢シロムグ
被カキ 袷アサギ 袖スデ 袴ハカマ 帷子カヒラ 紙子カミゴ
社シヤ 襟エリ 褌フク 布子ヌメゴ 草物クサモノ
袖口スデグチ 浴衣ユウイ 衣紋イモン 産着ウツキ 羽織ハオリ 褌フク
此の不利は用のおる事教し

非衣類詞

袢コシ 直垂ヒタシ 袴ハカマ 素襖スワク 襦ムツ 襦ムツ
奴ヌ 袴ハカマ 袴ハカマ 小忌衣コイモイ
白シロ 弦ヒ 緋袴ヒハカマ 縊袴ヒキハカマ 宿直衣トイモイ
祝イハヒ 淨衣ジヨウイ 袷アサギ 袷アサギ 蓑ササ 蓑ササ 帶オビ
直衣ナラシ 上下カミシモ 肩衣カタクイ 絆切ヒキキリ 水旱スイカン
葛クワ 袴ハカマ 水ミヅ 木キ 十德ジュツク 篠掛シノカケ 直ナラシ 袴ハカマ
居イ 袴ハカマ 立付タテツケ 襟エリ 卷マキ 掲布カケフ 帽子カピ 直ナラシ 袴ハカマ
被カキ 袴ハカマ 野袴ノハカマ 紙羽カミハ 脚絆ケツパン 股引マダヒ

頭巾カウチ 足袋タラシ 三尺手拭サンシヤテ 法被ホウビ 褌フク
袷アサギ 道服ミチフク 羽衣ハネイ 袴ハカマ 袴ハカマ 袴ハカマ
額帶カウチ 藤衣フジイ 袷アサギ 袷アサギ 素鞆ソトモ 袷アサギ 袷アサギ
右官服ミナモト 祭服マツリフク 僧衣ソウイ 袷アサギ 袷アサギ 袷アサギ
等平生着用セヨルおる非衣類

水邊之詞

三句拾々
一句拾々も捨ル

海浦ウミ 濱ハマ 川カハ 江池エチ 澤サハ 堤ツツミ 流木ナギキ
漆シ 淀イ 渚ササ 沖ミナト 磯イソ 汀テイ 瀬セ 洲シマ 浮木ウキ
洲シマ 崎サキ 津ツ 浪ナミ 泡ウメ 潮ウシ 沼ヌマ 沼ヌマ 杜ツ 岩イハ
瀧タリ 嶋シマ 橋ハシ 筏カネ 樋ヒ 笕カネ 流ナガシ 溝ミヅ 井イ 戸ド
海士ウミシ 渙火ハツカ 蛇籠ヘビカゴ 水屑ミヅクサ 濱ハマ 萩ハギ 海草ウミクサ
須磨スモ 明石アカシ 松マツ 鴛ウヰ 菖蒲アヤメ 貝カイ 類ルイ 鉤カギ 具グ
真マコト の名ナ 水ミヅ 鳥トリ の名ナ 漁イサ の名ナ 船フネ の道具ドウグ
幸崎サイキ の一ヒト 松マツ 蓮レン 洋ヨウ 藻ソウ
非水邊詞

舟フネ 桃モモ 打ウチ 上ウヘ

十四

成り小娘作り、たは巻法會あり、
 花誹諧之連歌す、月の夜鳥の、
 月誹諧之連歌何れ、と女席の、
 名く、趣り、徳め、の、等、の、予、う、流、り、
 紙、丸、相、か、に、正、保、三、年、
 十、音、於、卷、咲、亭、定、了、
 世、上、に、五、身、事、
 志、る、に、

面白う、
 巻、法、會、の、時、

去、の、字、取、り、
 梅、何、
 誹、言、
 蛸、何、

女通助

何、上、置、時、
 下、何、置、時、
 一、字、露、頭、
 二、字、反、音、
 三、字、反、音、
 三、字、中、略、
 除、扁、添、扁、
 余、ハ、古、書、に、

月之部

月、秋、也、
 月、十、月、
 月、日、星、
 月、次、月、
 月、代、に、

月ニ夜の字結フ句 折と本也

總神歌名所等結フ句 右同断

月ニ姨捨又更科ト付合ハル

此は抄りし月ハ付入者引合

月ニ同道具付ハル

たゞ月ハ折ニ付テキ

春の月一巻ハ夏冬同断

以上四折本夏冬同断

心月胸乃月月次ハ月 真如忠月

月草 寺号 山号 付字ニテモ

曇り氣ハ先ハ照リ居ル西の月成リ

秋ハ夜分ハ折ニ付テキ

星月夜ハ氣流ト結ト非月星の光

月の雪霜氷秋也 月ハ折ニ付テキ

月の氷 秋ハ月氷ニ付テキ

月流月乃の梅氣 在れ芝小島也

影る月 夜分 昼より出て影ハ非夜分

月明景 月ハ折ニ付テキ

脚出部 此類皆非夜 月ハ折ニ付テキ

两部 月讀神 月讀社 月ハ折ニ付テキ

隻の夜ハ霜 夏ハ非降 月ハ折ニ付テキ

○花之部

花四也折ニツ宛 花の字 三句本

初花待花 花盛花見 花ハ折ニ付テキ

花房 花笠 花曇 花守 花ハ折ニ付テキ

花鳥 花車 花桶 花瓶 花ハ折ニ付テキ

花生 花軍 花入 花園 花ハ折ニ付テキ

花の山 花乃宴 花ハ折ニ付テキ

花の宿 花乃友 花ハ折ニ付テキ

花と宿 花ハ折ニ付テキ

花ハ折ニ付テキ

花島 心むにけりしれと或は月夜とわとも
御傘にまうせ心たうへ
 花乃重 非聳 ちやい浪 非水
 花鎮 神祇也 花籠 同上 花生の時ハ
非叙
 年の花 卷の春 歳旦也 正卷也

褒美の卷

卷の教 卷海中卷 卷舞 卷好 上
 卷心 卷鞆 卷鯉 糸卷 卷の貝
 卷衣 作卷紙 卷卷 卷紫 卷うらぎ
 卷の縁 卷乃袖 卷の袂 卷真壺
 紋の卷 繪乃卷 詞の卷 卷乃次女
 染物の卷 織物の卷 卷びり 傍の友スハ叙
又條のひひ
 卷四 正卷ハ 擡四の時ハ 非正卷 又巻肉くのむと

花庭 花の庭を指す 花の香竹去 卷の香ハ 五句去
 卷の香 花の香ハ 五句去

花の友 ハ 物橋の友 眞 睡の友ハ 不付
花の友ハ 非凡殊 卷の友ハ 凡殊

花の付句 同道具 不付 花の付句ハ 不付

花に吉野付 花の友ハ 非凡殊 卷の友ハ 凡殊

卷に極 骨やう 極 極ハ 骨やう

卷各所結句 折去 針叙 衣ハ 結句

卷月月結句 百負 他季の卷 百負

正花卷句 第三三寸 四句目より表の
内ハ 寸ハ 寸

他の季 卷
 夏の正花 餘卷 卷葉の卷 郭公結句
 秋の正花 卷火 びり
 冬の正花 飯卷 卷足袋 餅卷

朝拜

朝賀 奏賀 奏端
群臣 天子とえ物日許しりこりこ
肥後のふり給の美と奉る
天子の許る舎に供する
え物少と奉るありさ時ハを奉るす
時ハ山年とす

腹赤贅

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

氷乃様

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

屠

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

井用

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

國栢笛

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

祇園

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

年徳神

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

志方

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

注連飾

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

初霧

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

初露

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

太箸

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

少玉

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

門松

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

雑煮

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

蓬菜

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

福寿草

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

書りめ

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

万歳

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

福

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

宝引

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

毬

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

吹

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

松

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

吹

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

店

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

去

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

羽子

天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ
天子ハ奉り流は、毛流ふ

手飛丁

二

五加木

藍草

根香花

二日炙

麻草

松毛草

彼花梯

菜の花

大根の花

八重梯

花と竹

かつらぎ

蛇

初花

蒲公英

馬刀

狗脊

杉葉

雞

狗杞

接木

蕪葱

野蒜

接穂

蒸麩

引鶴

引鴨

鳳巾

姑洗

清明

三月

季春

中和

上巳

竹秋

花飛

三

浴生

桃且重三元巳上除

雛

大裏雛

桃乃節

曲水

紙ひね

柳

汐子

ひな祭

羽鱈

鶏合

寒食

三月の暮

巳の日

次

上巳

善導忌

壬生祭

壬生忌

嵯峨大念佛

千本念佛

千本念佛

御身拭

御影供

御影供

人磨忌

吉野の會式

吉野の會式

浅草祭

梅

梅

順の峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

峯入

小鮎 搦更 所塞 火燧塞
 八十八夜 霜 別
 山吹衣 夜 霜
 三月 雀 雀 雀
 去の深 去の深 去の深
 去の漆 去の漆 去の漆
 去の道 去の道 去の道
 去の流 去の流 去の流
 炎帝 帝 祝融 神 昊天
 朱明 蒸砂 躡蹟
 仲呂 立隻 小滿 正陽
 孟隻 余月 乾月 初隻
 四月 首隻 卯月 卯月
 正名残月 鎮月
 更衣 一日 白重 卯の辰衣 青すゐ 十ノ節
 コロモカ 裕 給ぬさ 禁中 卯の辰衣 青すゐ 十ノ節

孟夏 旬 一日 天子より群臣廟と強か
 筑摩祭 一日 鎬祭ト云
 灌佛 八日 佛生會 龍花會 湯阿佛
 神衣祭 十四日 麻積の連と大麻とて衣如
 賀茂祭 中酉日 国祭 葵祭とすの葵わひつ
 日光祭 十七日 地主祭 清水 和歌祭 同上
 八瀬祭 辰日 戒壇堂開帳 八日 嵯峨祭
 水屋能 三十四日 五目 當摩法事 十四日
 千團子 十六日 三井寺 三枝祭 浦川祭 土塔會 寺
 神祭 三枝祭 三枝祭 土塔會 寺
 松前渡 秋 鷹埒入 鷹埒入
 郭公 子規 時鳥 橋鳥 不如歸 無常鳥
 蝙蝠 蚊 螢 腐草 螢 腐草
 カウモリ 蚊 螢 腐草 螢 腐草
 カウモリ 蚊 螢 腐草 螢 腐草

幟立

小幡、紙のあり、甲飾、甲人形、
まき、ふ、協、まき、ふ、鐘、巻、
わめめ、わめめ、乃、か、き、

菖蒲節供

わめめ、わめめ、わめめ、
わめめ、わめめ、わめめ、
わめめ、わめめ、わめめ、

粽

こも、ち、ま、ま、
ち、ま、ま、ち、ま、ま、
ち、ま、ま、ち、ま、ま、

薬日

薬玉、長命、續命、
薬玉、長命、續命、
薬玉、長命、續命、

薬草摘

競、百、草、摘、
競、百、草、摘、
競、百、草、摘、

騎射

右、近、の、ま、ま、
右、近、の、ま、ま、
右、近、の、ま、ま、

水馬

音、水、中、の、ま、ま、
音、水、中、の、ま、ま、
音、水、中、の、ま、ま、

賀茂の競馬

神、ま、ま、ま、
神、ま、ま、ま、
神、ま、ま、ま、

生王流鎗馬

住、吉、御、田、植、
住、吉、御、田、植、
住、吉、御、田、植、

伊勢山川祭

山、田、宮、川、
山、田、宮、川、
山、田、宮、川、

有無の日

日、終、日、清、例、
日、終、日、清、例、
日、終、日、清、例、

帷子

浴、帷、子、
浴、帷、子、
浴、帷、子、

寂勝講 祇園御興洗

晦日夕

夏至

中、の、半、夏、生、
中、の、半、夏、生、
中、の、半、夏、生、

入梅

梅、の、白、青、梅、
梅、の、白、青、梅、
梅、の、白、青、梅、

鶉川

鶉、の、子、
鶉、の、子、
鶉、の、子、

黒鴨

鴨、の、子、
鴨、の、子、
鴨、の、子、

鵲舌

舌、の、子、
舌、の、子、
舌、の、子、

麦刈

麦、切、り、
麦、切、り、
麦、切、り、

覆盆子

覆、盆、子、
覆、盆、子、
覆、盆、子、

紫陽草

紫、陽、草、
紫、陽、草、
紫、陽、草、

忘草

忘、草、
忘、草、
忘、草、

木摘

木、摘、
木、摘、
木、摘、

標

標、
標、
標、

入梅

入、梅、
入、梅、
入、梅、

蒼木焼

蒼、木、焼、
蒼、木、焼、
蒼、木、焼、

手札

葛	薯蓣	天南星	南天	卷
夏菊	藻と刈	早松茸	ひんげん	卷
枇杷	藻刈舟	早初茸	さげん	卷
若竹	洋の卷	生胡桃	下り	卷
天蓼	菱の卷	青山椒	きり	卷
茄子	栗の卷	桑の實	あし	卷
刈葱	茨の卷	花菖蒲	さくら	卷
根芋	神の卷	朝露草	和布	刈
苔草	いんげん	青小豆	きり	卷
青田	田子取	栗蔞	馬齒草	
胡瓜	科蔞	苳蔞	胡麻蔞	
蘭	根蔞	玉簪	うら	刈
梔荳	蚊帳草	合歡	わら	刈
紫打	水鏡	水鏡	于鏡	
鮎	水馬	水雞	うら	入
藜	蟪蛄生	蛇衣脫	蟬の	お声

鬼乃卷 毛じり 蒸玉餘臭
 黒くへ 白くへ 沖の志け 悪くくまれく 悪くく
 林鐘律 小暑 大暑中
 季夏 瓜期 旦月

六月

遯月 水無月 風待月
 鳴神月 常夏月 陽氷

賜氷節 氷の貢 氷室 氷室乃雪
 氷餅祝 一夜酒 麻地酒 醴粉酒

富士詣 一日ヨリ 精進 六月會 四日 天台宗

祇園會 神輿とあり奉り奉りまづく
 臨時の祭十五日ニあり

御躰の御ト 神祇官の友人玉前日ヨリ
 御人奉り奉り奉り

津島祭 十四日 舟祭 夜月 挑灯 勢田祭 十四日
 十五日 舟祭 夜月 挑灯 勢田祭 十四日

嚴島祭 十五日 竹生島祭 十四日 博田祭 十六日
 江戸山王祭 十音 御手洗詣 廿日 鞍馬竹坊 廿日

伊勢祭礼 十六日 伊勢 愛宕千日詣 廿四日

大坂座摩祭 廿日 賀茂水無月之能 廿日

橋立祭 廿日 任吉御後 唐崎祭 廿日

施茶 東山北山西山のちのたつさるに傍り 貧窮の米坊ホリ禁中より後

小蠅をく神 大暑乃前ハ思鬼四方一花めり

大枝 廿日 淡後川 川をへ 妻はへ 女をへ

川社 夏後 川をに扱と かせハ井

形代 川後之の形と作リ川ハ菅貫 後之

茅の輪 ちぢや又論と云ハ撫物 同

鎮火祭 卅日 卜部氏が行ヒ 夏神樂 廿日

雷鳴の陳 雷声三度をわく大坂以下近衛の次場 候ハ帝と守護一奉り

三伏 夏の後第の庚の日と初伏と第二の庚と三 中伏と小立秋の初の庚未伏と三伏

涼 月涼 涼 涼 涼 涼 涼 涼 涼 涼 涼 涼 涼

京四條の涼 七月 川の中に床と云ハ 涼 涼 涼 涼

江戸兩國橋の涼 八月 屋形船

嘉定喰 土台 嵯峨天皇 潜龍の特末の嘉定錢十六文 此日 饌供と設く其例と用也

簞 浮籠産 脚馬抱籠 涼の具 泉 泉殿 滝殿 水閣

汗 汗手ぬぐひ 扇 五明 扇車 扇すす 扇 川

土用子 虫 拂 團 唐ちちとやき園 心太

清井 井戸 汲 清水 汲ひす 水 雑

麻 麻引 青草 夏引糸 楮の花 紙に木

瓜 赤瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜

瓜 梵天瓜 ひぬ瓜 水瓜 夕顔 子ひひひ

瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜 瓜

蓮 荷花 水芙蓉 荷 葉之 蓮の實 夏之

蓮 白蓮 蓮 蓮 蓮 蓮 蓮 蓮 蓮 蓮

百十紅 紅蓮 蓮花 實毛ハ秋之

射子 蝉 海松 荒和布 蠟

夏虫 夕立 白雨 蒜根

神鳴 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷 雷

青瓢草 六月 夕立 南瓜 夜簾賣

江戸初躰 六月 夕立 南瓜 夜簾賣

江戸初躰 六月 夕立 南瓜 夜簾賣

セー 膾 大暑の節 奠わがれりやうに 奠の奠

沖膾 冬天子仲より陸と陸の百奠のりやうに 奠の奠

上州新絹 六月中旬日野うのの法よりやうに 奠の奠

后尊糸 六月廿日相如大山不動奠の院

極暑 ありさ日 綿の巻 醬油造

火天 雲の峰 葛の巻 納豆造

日盛 麻の巾 蘭の巻 奈良漬

日傘 麻羽織 菅の巻 竹の皮板

温風 振舞水 藍の巻 昼顔の巻

風薫 水子粉 白麻刈 麒麟草

藿乱 香薷散 蒲の穂 けりるま

葛水 砂糖水 青蕃椒 席の尾花

水飯 洗ひ飯 夏枯草 茗荷の子

洗鱸 海月取 于飯 道明寺水

洗鯉 金龜虫 青鬼灯 烏糲搗

煮冷 雲雀雁鳥 鷹羽衣ひとぢふ

杏 鷺草 林檎 杏子 河やぬ

李 赤草 澤泻 風蘭 凌霄

蛭 早桃 楊梅 眼皮 鱈釣

菱の別 菱果 菱の限 菱造て

秋と隣 秋とさこぬ秋 焼と焼

秋 少皞帝 蓐收神 來頼

夷則律 立秋 處暑 孟秋

七月 桐秋 初秋 首秋 明景

七夕 桐月 夕月 蘭月 女良卷月

わまの川 銀河 銀浪 銀漢 乃川

かづの橋 鳥鵲 紅葉 橋妻 定船

乞巧キョウカウ天テンの立タテ琴シン 乞巧針キョウカウシン 七孔の針にうろくの糸と通し手向花

七種の船ナナコノフネ 萩船良尾卷菖の舟と七種といふ

七箇の池ナナコノイケ 七器の水に星と移す 梶カキ 七々の秋に葉

池坊イケノボ七夕タタヒの豆花マメハナ 抄侍セウジ 住持のくまのり

荷前ササキの使ツカ 奉り諸廟へ 送オウの峰ミネ入イリ 本山七月

矢ヤ殊ジュ會エ 八日六道参 聖セイ靈レイ 九日 迎ムカヒ鐘ネ 同上

清水シズミヅ千日チニチ詣ヨミ 禪ゼン買カ 酒靈棚に飾 焰エン魔マ 十

盆市ボンシ 聖セイ靈レイ菫シ 聖セイ靈レイ竹チク びヒ火ヒ燒ヤク 芋壳土器手向物品

靈祭レイサイ 根ネ芋ユ 枝エ豆マメ 青アヲさサけケ いイかカりリ 音ネ柿シ

燈籠トウロウ籠カゴ 向ムカひヒのノろロ 丸マルとトうウろロ 松マツのノりリ 松マツのノりリ

送り火オウリヒ 麻アサ谷ヤのノ大オホ文ブン字ジ 愛アイ岩イワ 烏カ井イ

三井寺女詣サンヰノメノメ 七月十日音系詣 燈籠籠トウロウカゴ 長谷

夏書納ナツカキナ 經水流キョウミヅリ 題目踊タジマヨリ 松崎 中元ナカノヘ 七月十五日

盆の火ボンノヒ 伊勢山由イセヤマユのノ家イ菖ササとト 扇置アヒ 拾シ扇セ

生身靈ナマミタマ 父母持フツチのノ飯イ 刺サ籍シヤクのノ親オヤとト餐イ 新綿ニウワタ 十六日

相撲スモム 関セキ丸マ 関セキ脇ワキ 小コ結ムス 寄ヨ角カク力リキ 行ユキ司シ 土ツチ俵ヒラ入イ

一葉イチエフ 桐キのノ葉ハ 萩ハギのノ葉ハ 萩ハギのノ葉ハ

もモ也ヤわワ 萩ハギのノ葉ハ 萩ハギのノ葉ハ 萩ハギのノ葉ハ

筮シ菘ソウ 百ヒャク元ゲン菘ソウとト云ク 一イチ株ケにニ百ヒャク本ポンのノ有ア菘ソウとト以モて

薺カイ 牽ヒキ牛ウシ 朝アサ良ラ良ラ 槿キ花ハ 朝アサ良ラ良ラ 槿キ花ハ

藥師草ヤクシカウ 身ミ切キ草クサ 益エキ母ボ草クサ 益エキ母ボ草クサ

桔梗キキョウ りリのノひヒわワふフきキ 蘭ラン さサらラらラらラ 翁草オウソウ りリのノひヒわワふフきキ

蓮レン花ハ 蓮レン花ハ 蓮レン花ハ 蓮レン花ハ

藤フジ花ハ 藤フジ花ハ 藤フジ花ハ 藤フジ花ハ

火活杖乃祭

いのみまは南極連の社としてあり長
び一秋アの司計獄刑法と定め
以所りて五刑とがらふ子乃
或罪の者不追善にするなり

釋奠

ちんまつり 式法
二月五日 西院祭 廿日

名月

十五夜 三五夜 名高月 廿月
新月 良夜 夕月 此月 異名 月 部 三香
駒牽 駒迎 望月の駒 三香の駒 禁庭(駒) 三香
甲斐の駒牽 十七日 武藏の駒牽 廿七日

龍田姫

秋の色と浴出と神入 秋の宮
造化の神入 非神祇 秋の宮
中宮の 所奉之

いづよふせ鳥

鶴鴿云 後の彼岸 蛇虎ふ

小鷹鳥

小鷹持 鷹几棠らり 鷹細

兄鷓

小隼 雀賦 黄鷹

青鷹

野ざれ鷹 山づり鷹

鷹打

りたり 鶉鷹 鷹と鷹

鳥

り金 かりうき じい あり あり
アの仗 了れ文 了書 枝あり
アに書 終り 秋 八 ぬき 秋

色鳥

ひよき けぐき ころも 目白
ひよき けぐき ころも 目白
ひよき けぐき ころも 目白
ひよき けぐき ころも 目白

鶉

うらうら 細 鶉 毛をれや月

鴨

川 小鳥渡 秋

鹿

鹿の声 鹿笛 鹿づり

鮭

小鮭引 女麻

澁貼

落貼 下築 くるる ぬに築

薄

尾をれ 赤く 赤の羽をれ 赤ら 秋なり

葛

葛の細乃 葛紅葉 葛の綿

月草

露草 蒼紫 藍の花

馬来紅

葉雜頭 尚香は實

瓜

錦文子 蒲萄

宇治

草卷也 非正卷 核

稻乳

乳のこく 積り 核

稻

浪い 雲い 杯ふす 杯みぬ

八束穂

豊幸の稲 新米

新米

新米

新米

新米

新米

新米

秋の田 田の巻 検見 同坪川 二百十日 立春ヨリ 二百十日目

東呂子 東国より 稲とりの 紫山子 引板をうつちり

本綿取 も吹 芋 いもつら

牛房引 暮に預堀

茅種時 かえりたぬき

栗刈 種瓢草 牡丹分根

稗刈 種夕顔 乃乃付

稷刈 種南瓜 乃乃付

芽萱 種茄子 乃乃付

藥堀 鳳仙花 曼陀羅華

茵堀 雞頭花 百部 桂

鶉草 金剛草 蕎麦乃卷

野菊 百夜草 乃乃付

鬼灯 鴨上戸 木屏の卷

縷紅 若菖菖 乃乃付

通草 木芙蓉 乃乃付

冬瓜 大豆引 小角豆引 三七卷

江鮮 うらら 太刀の魚 竹の春

初汐 八月の野分 八月吹 九月の雨

卷壇 草丈 非正卷 石 あまのこ

無射 寒露 霜降 中

季秋 玄英 季商

紅樹 菊天 素秋

舞射 残秋 末秋

玄月 晚秋 秋

菊月 陰月 秋

九月 秋 秋

本漆月 本漆の秋 小園月

重陽 重九 菊且菊 菊酒

九日小袖 菊重衣 紅葉衣 紅葉土器

後の雛 おひな 足袋 たね

井戸

不堪田の葵 七日 是ハ諸國田に損亡の所と目録

桂宮相撲 八日 泉涌寺舍利會 八日

醍醐祭 九日 御香宮祭 九日 鞍馬祭 卅日

貴布祢祭 九日 生玉祭 九日 四宮祭 十日 大津

下鳥羽祭 十日 例幣 十日 白川祭 十一日

岩倉祭 十日 栗田口祭 十日 一宮祭 十日 河内

岡寄祭 十日 木幡祭 十日 鹿谷祭 十日 北四日

逆髪祭 十日 北山祭 十日 鳴瀧祭 十日 廿八日

津村祭 十日 天王寺一条會 十四日

太秦祭 十日 八幡花法頭 十日 津和野

小倉祭 十日 天滿鑄流馬 十日 大坂

吳服祭 十日 波利祭 十日 高辻

野之乃別 十日 桂川乃御飯

慶會新嘗會 九月十六日 十七日 勅使立なり

伊勢御遷宮 十月十日 禮幣使立 夜合也

神田明神祭 十日 蓮御難比餅 十日

任吉の市 十日 任吉相撲 同上

後の月 十三夜 二夜月 夏名月 月のまはり

菊 羊飲 回峯 女郎 周盈 羊の栗 金目貫 弟草 翁草 砂金 毬菊 ちりり系 狸々菊

残菊 十日の菊也 残菊の妻やいふ

兼和菊 兼和幸中よりとをへるめ

紅葉 色見草 紅葉の船 紅葉の筏

楓 名木散 銀杏 柚

榎 榎の串 榎の本

御所柿 御所柿の似せり 和州巨勢

栗 栗の粉餅 栗の飯 栗の推

菌 切草 柳多け 瓦草 紅草 草物

ト治 いちぢ 瓦草 紅草 草物

榎の串 榎の本

御所柿の似せり 和州巨勢

栗の粉餅 栗の飯 栗の推

切草 柳多け 瓦草 紅草 草物

ト治 いちぢ 瓦草 紅草 草物

孟冬 折木 初冬
 玄帝 秦正 上冬
 始氷 方冬 新冬
 小春 亥冬 早冬

十月
 初月 初霜月
 十月 十月 十月

神無月
伊弉冉尊神より申しく陽の月を
 在神月といふ今法津が所此大社へ
 いけり神のまをりてハ社あり月と云
 世々通利アリ也

神乃旅 神送 神の留主 神集

大社の神事 出雲 神立風 冬
 宇津田長神 神と守 下元 十五日

玄猪の餅 初の亥日
豚ハ子と多くとちを申うる也
 子孫繁栄にがごとくしてよくく

進爐炭 唐の焦糧 同上 拜墳 同上

興福寺法華會 東福寺開山忌
 法勝寺大身會 金比羅祭 二日

達摩忌 廿日 十夜の念佛
去日ヨリ廿日ヨリ淨土宗
 にて行記上人々々始ル

維摩會 十日 日蓮御影講 法華宗
一向宗祖師親鸞上人の忌日十月廿八日
 本願寺にて大法事有未寺并在家ハ
 十月よりト 勝手次第法事と勤ル

御取越 十月よりト 勝手次第法事と勤ル

惠美酒講 廿日 諸國商人家々にて祭ル
善文拂 惠美酒の膳賣買

茶乃口切 爐開 灰 巨燵 切 置火燵
炭竈 炭焼 賣炭翁 炭取 炭俵
 白炭 輪炭 炭炭 助炭 回炭
 小野炭 池田炭 熊野炭 櫻炭 歟炭

冬籠 冬籠 冬籠
冬籠 冬籠 冬籠
 冬籠 冬籠 冬籠

綿 綿 綿
綿 綿 綿
 綿 綿 綿

糸 糸 糸
糸 糸 糸
 糸 糸 糸

月 月 月
月 月 月
 月 月 月

鐘 鐘 鐘
鐘 鐘 鐘
 鐘 鐘 鐘

初氷 菊 菊
初氷 菊 菊
 初氷 菊 菊

鴨鷹 落葉 革羽織

籬 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

飯卷 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

菜汁 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

納豆汁 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

落葉 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

霜 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

初雪 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

水鳥 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

一鳥 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

細代 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

妙音講 冬牡丹 八手の巻 枇杷丸巻

諸國座頭の祭也 十月十四日 一郡一郡の正月 弁天妙音講 尊像と種々供物と備へ順番り 平家平家と云ふり 通夜すべし

十月

黃鐘律 大雪節 冬至 中正 朔易 霜晨 氷壯 星紀 畧短 芸生 宵氷 仲冬 盛冬 冬半 陽復 子月 鴨月 復月 霜月

天正月 霜降月 雪見月

朔旦冬至 十月朔日冬至よりついで十一月乃万

一陽佳節 十月無陽の月 十一月乃万

宮線と添 唐に於て糸と云ふは 履と献 唐に於て 奉

相嘗祭 上邨大和 住吉大神 穴師 鴨 思智 意富 葛城 日前 右の神主官幣と請取行フ祭ナリ

新嘗祭 中ノ邨 今年の初穂と 天子より神奉らせ給ふ

豊れ明の節會 中ノ辰 今年の新米神奉り 天子より百石を臣もたまふ

殿上の淵醉 中ノ巫 長基乃試 立節の無舞と 御覧と云ふ

童女御覽 外日清涼殿 鎮魂祭 離魂と 童女と百御覽

空也忌 十三日 鉢和 俗髪に 大師講 十四日 法衣と看

報恩講 一向宗祖師親鸞上人乃忘日十月廿八日
七日の間大法事なりおまゝのりて廿八日
廿八日夜

芝居顔見世 朔日 十五日 袴着 同上

雪 六ツの冬 名は冬 雪乃冬 雪乃冬 雪乃冬
名柳子 名女 雪の肌 雪の肌

雪車 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

雪走向 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

雲 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

氷 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

寒苦鳥 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

鯨 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

杜夫魚 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

鯽魚 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

水仙 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

雪の下 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

凍 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

鷹 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

退羽打 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

ちうさ子 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

屋形尾 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

ぬく差鳥 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

鳥柴 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

鷹 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

里神樂 名のと 名のと 名のと 名のと
名のと 名のと 名のと 名のと

おはよき名一かすといふ
 おしらう一とあやうなる
 おりこがら一様子のさく一火
 王様と子細候へうさほさふ
 まゝとせ一にうりの事
 王様の事一我うくを疑
 王様の事一昔葉とつ
 王ううを一俵あひて病葉と
 う二言去うが二言我う誰かふ
 かうく一絆く一さく
 かんきわの酒一船三言
 かまきん一坂より坂と云
 かさう海一相お船とつ
 かももく一藤河は様のお
 かまらり一幅幅
 からりて一街このか

②

かさのさう一柿母のぼさのこ
 ますり一たよりよあ一使
 よがら一平の事一は下
 よみち一ゆいこの
 りん乃お一天子は森
 たがら一あがりくお
 玉出法巻一すこの
 中より二言去海一お
 其めん云何は二言了二言
 そと云てふ二言去ぞとが二言
 予のか一むしり事
 と云何一平平六ホ
 そと云てふ二言去ぞとが二言
 その何る二言及あれ内
 とう川一流水と云か

師一^三位倍子水くくろく
 崎く^三れき電一仙境く不恒郷^三出
 ありさけ^三屋三^三尾後引^三所^三振提^三出
 息一^三床一^三ホ^三現在^三の^三一^三二百^三去
 一^三そ^三二百^三去^三爲り^三、^三西^三太^三
 元母一^三縁^三急^三宿^三縁^三 出^三行^三太^三
 忍く^三ほ^三心^三一^三恙^三業^三ほ^三心^三
 忍^三下^三一^三福^三々^三 嫉^三妬^三の^三事^三し
 て^三爲^三り^三 三^三去^三下^三の^三白^三て^三爲^三一^三
 て^三下^三云^三詞^三一^三三^三の^三を^三さ^三は^三し^三ふ^三ふ^三
 わ^三く^三三^三詞^三ニ^三の^三様^三一^三わ^三く^三あ^三ら^三し
 わ^三く^三三^三詞^三一^三わ^三娘^三一^三わ^三娘^三一^三あ^三く
 わ^三が^三三^三詞^三一^三わ^三が^三り^三こ^三わ^三が^三さ^三し^三ふ^三
 わ^三と^三さ^三り^三一^三一^三家^三良^三と^三い^三ん^三柳^三一^三
 わ^三か^三り^三ま^三一^三わ^三か^三り^三ゆ^三と^三い^三ん^三柳^三一^三
 わ^三く^三れ^三の^三一^三尺^三夜^三の^三一^三闇^三知^三一^三出

㊦

さ^三ん^三 七^三句^三去^三爲^三り^三ハ^三お^三去^三
 こ^三の^三詞^三ニ^三百^三去^三息^三さ^三去^三一^三さ^三あ^三く
 さ^三ハ^三い^三の^三詞^三ニ^三百^三去^三爲^三り^三お^三去^三さ^三へ^三ニ^三百^三去
 さ^三さ^三三^三詞^三ニ^三の^三様^三の^三様^三わ^三娘^三わ^三娘^三わ^三娘^三
 び^三ら^三び^三ん^三ん^三ぬ^三わ^三ぬ^三わ^三ぬ^三お^三去^三
 さ^三一^三さ^三さ^三一^三遠^三西^三去^三一^三切^三衆^三生^三ト^三出
 さ^三す^三一^三一^三流^三人^三の^三の^三り^三
 さ^三二^三百^三去^三さ^三り^三さ^三さ^三さ^三り^三さ^三あ^三く
 さ^三ひ^三一^三恙^三事^三々^三 雅^三ト^三出
 さ^三ら^三く^三一^三題^三の^三別^三 若^三の^三別^三 三^三百^三去
 三^三百^三去^三一^三名^三法^三の^三の^三術^三々^三
 三^三百^三去^三一^三浪^三に^三さ^三さ^三術^三々^三
 三^三百^三去^三一^三幣^三の^三の^三術^三々^三々^三
 三^三百^三去^三一^三仲^三糸^三の^三の^三術^三々^三々^三
 三^三百^三去^三一^三糸^三の^三の^三術^三々^三々^三
 三^三百^三去^三一^三糸^三の^三の^三術^三々^三々^三
 三^三百^三去^三一^三糸^三の^三の^三術^三々^三々^三

三
 七
 七

す 二万本 ぶのぬふ極
す 一より多 月を云 爲りハ あり云
す 二より多 二あり 事と あり云
す 一より多 一あり 事と あり云
す 二より多 二あり 事と あり云
す 一より多 一あり 事と あり云

一文字 七万本 訓音 五万本

単編 獨ホ 三句本

二文字 面本 訓音 七万本

三の字 三の字 三の字 三の字

百千万 各あり 訓音 面本

春 字 七季 七季 各 四季 各 四季

春の字 四あり 非 感の字 面本

月七 考 本 月 次 の 月 強 字 三 万 本

花 四 打 去 卷 の 字 三 万 本

残る 花 去 残る 去 残る 去

残る 花 去 残る 去 残る 去

残る 花 去 残る 去 残る 去

和雪 残 浪 雪 残 浪 雪 残

歌 二 音 二 和 奇 の 分 二

連歌 俳諧 風雅 友 信 の 乃 略

詩 爲 句 後 冊 色 帯 小 一

田 一 借 五 本 一 各 五 本

作 勢 の 國 一 七 曆 の 七 海 七 七 經

い せ 抄 漢 作 勢 七 七 七 七 七

か 中 の 数 出 七 七 一 七 七 七

付 格 式 六 六 六 國 各 日 七 七

東西南北は四字訓一音一打
但方角あり付も打裁もふ様

音の声く 音去 音の音 音く

音も 音も 音も

音の音く 音も 音も 音の音く

音一音通一音が一音冬く

音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音

音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音

音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音

音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音 音の音

手挑灯中巻 終

切

